

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2024	1	A	20123020	五味帆翔

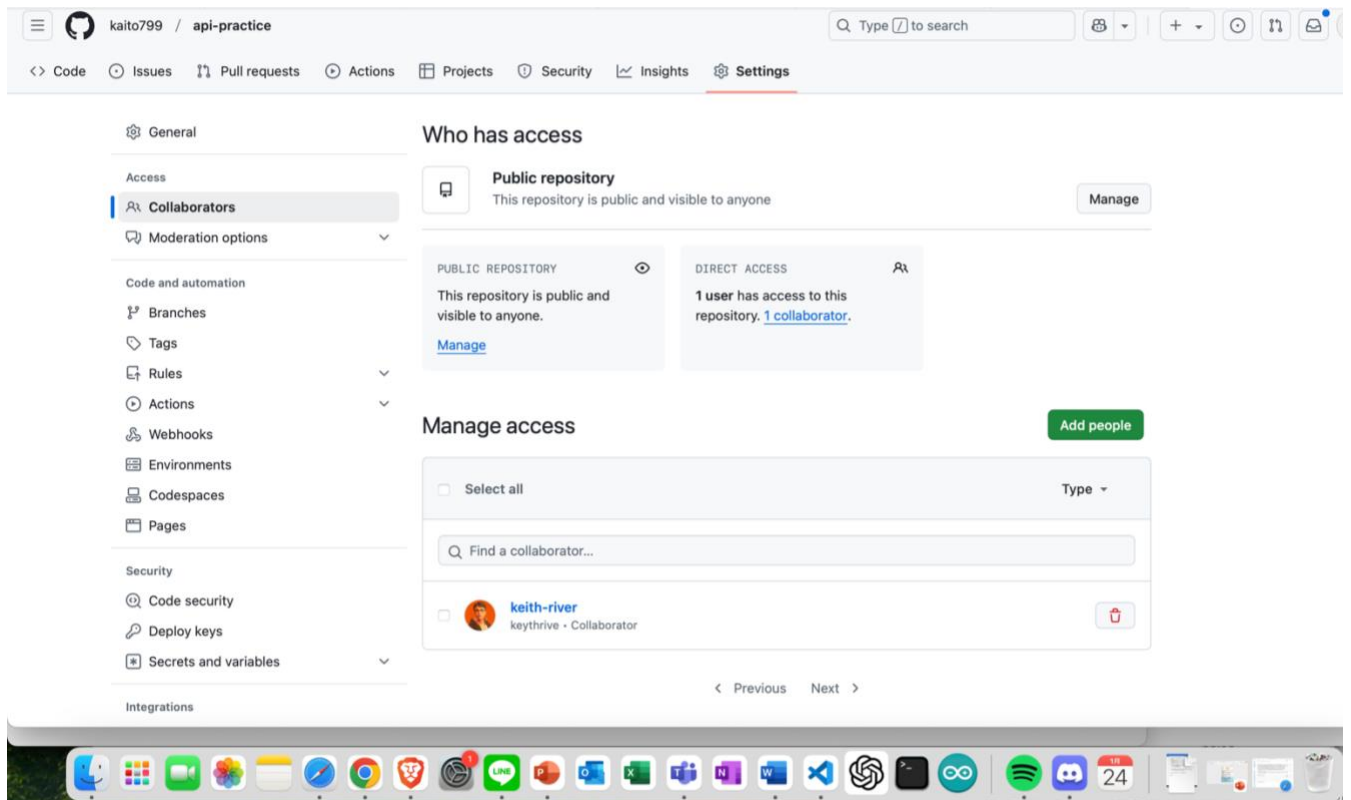
レポートは最大 4 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

- ・ 皆さんは成人していますので、学生であっても法令順守が必要です。著作権法に違反している場合は減点します。
- ・ レポートであっても著作権侵害は、法律により、10 年以下の懲役または 1000 万円以下の罰金になります。
- ・ 生成 AI は、[Microsoft 365 Copilot](#) もしくは、Ollama によるローカル生成 AI を使ってください。

1. 演習(1)で作成した Github プライベートリポジトリに教員を招待してください。招待したプライベートリポジトリの設定画面の画面ショットをレポートに添付してください。

A クラスの方 >> 堀川 : **keytrive**

B クラスの方 >> 西川(浩) : **nishikawa904**



2. Github Pages の機能を使って、自分用のポートフォリオもしくは Web ゲームを作ってください。作ったポートフォリオもしくは Web ゲームについて画面ショット含めてレポートとして報告してください。(CSS や画像等があると、評価が高まります。)

こちらが実際の画面になります



自己紹介

開志専門職大学の五味航輝です。私のスキルやこれまでのプロジェクトについて紹介します。

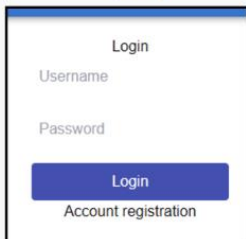
スキル

- HTML, CSS, JavaScript
- React, Next.js
- Node.js, Express
- MongoDB, MySQL
- IoT

プロジェクト

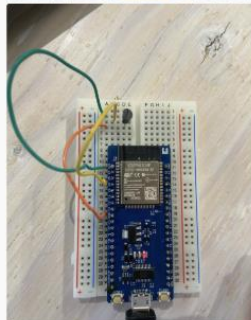
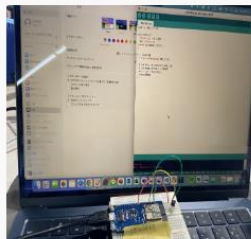
気温、湿度、気圧を確認することができるWebアプリ

このプロジェクトではIoT技術とNext.jsを活用したWebアプリ開発を組み合わせて開発した。



ESP32を使ってIoTデータ取得

このプロジェクトでは、ESP32というマイコンを使ってIoTデータを取得しました



連絡先

メール: 20123020@kaishi-pu.ac.jp

GitHub: <https://github.com/kaito799>

こちらが html と css のコードです

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
6   <title>ポートフォリオ</title>
7   <link rel="stylesheet" href="styles.css">
8 </head>
9 <body>
10  <header>
11    <h1>プログラマーのポートフォリオ</h1>
12    <p>ポートフォリオ</p>
13  </header>
14  <nav>
15    <a href="#about">自己紹介</a>
16    <a href="#skills">スキル</a>
17    <a href="#projects">プロジェクト</a>
18    <a href="#contact">連絡先</a>
19  </nav>
20  <section id="about">
21    <h2>自己紹介</h2>
22    <p>同志専門職大学の五味航用です。私のスキルやこれまでのプロジェクトについて紹介します。</p>
23  </section>
24  <section id="skills">
25    <h2>スキル</h2>
26    <ul>
27      <li>HTML, CSS, JavaScript</li>
28      <li>React, Next.js</li>
29      <li>Node.js, Express</li>
30      <li>MongoDB, MySQL</li>
31      <li>IoT</li>
32    </ul>
33  </section>
34  <section id="projects">
35    <h2>プロジェクト</h2>
36    <div class="projects">
37      <div class="project">
38        <h3>気温、湿度、気圧を確認することができるWebアプリ</h3>
39        <p>このプロジェクトではIoT技術とNext.jsを活用したWebアプリ開発を組み合わせ開発した。</p>
40        
41        
42        
43      </div>
44      <div class="project">
45        <h3>ESP32を使ってIoTデータ取得</h3>
46        <p>このプロジェクトでは、ESP32というマイコンを使ってIoTデータを取得しました</p>
47        
48        
49      </div>
50    </div>
51  </section>
52  <section id="contact">
53    <h2>連絡先</h2>
54    <p>メール: <a href="mailto:20123020@kaishi-pu.ac.jp">20123020@kaishi-pu.ac.jp</a> "kaishi": Unknown word.
55    <p>GitHub: <a href="https://github.com/kaito799" target="_blank">https://github.com/kaito799</a></p>
56  </section>
57  <footer>
58    <p>&copy; </p>
59  </footer>
60 </body>
61 </html>
```

```

1  <!DOCTYPE html>
2  <html lang="ja">
3  <head>
4    <meta charset="UTF-8">
5    <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
6    <title>ポートフォリオ</title>
7    <link rel="stylesheet" href="styles.css">
8  </head>
9  <body>
10   <header>
11     <h1>プログラマーのポートフォリオ</h1>
12     <p>ポートフォリオ</p>
13   </header>
14   <nav>
15     <a href="#about">自己紹介</a>
16     <a href="#skills">スキル</a>
17     <a href="#projects">プロジェクト</a>
18     <a href="#contact">連絡先</a>
19   </nav>
20   <section id="about">
21     <h2>自己紹介</h2>
22     <p>同志専門職大学の五味航翔です。私のスキルやこれまでのプロジェクトについて紹介します。</p>
23   </section>
24   <section id="skills">
25     <h2>スキル</h2>
26     <ul>
27       <li>HTML, CSS, JavaScript</li>
28       <li>React, Next.js</li>
29       <li>Node.js, Express</li>
30       <li>MongoDB, MySQL</li>
31       <li>IoT</li>
32     </ul>
33   </section>
34   <section id="projects">
35     <h2>プロジェクト</h2>
36     <div class="project">
37       <h3>気圧、温度、湿度を確認することができるWebアプリ</h3>
38       <p>このプロジェクトではIoT技術とNext.jsを活用したWebアプリ開発を組み合わせ開発した。</p>
39       
40       
41       
42     </div>
43     <div class="project">
44       <h3>ESP32を使ってIoTデータ取得</h3>
45       <p>このプロジェクトでは、ESP32というマイコンを使ってIoTデータを取得しました</p>
46       
47       
48     </div>
49   </section>
50   <section id="contact">
51     <h2>連絡先</h2>
52     <p>メール: <a href="mailto:20123020@kaishi-pu.ac.jp">20123020@kaishi-pu.ac.jp</a> "kaishi": Unknown word.
53     <p>GitHub: <a href="https://github.com/kaito799" target="_blank">https://github.com/kaito799</a>
54   </section>
55   <footer>
56     <p>&copy; </p>
57   </footer>
58 </body>
59 </html>

```

ポートフォリオを作成するにあたり、これまで自分が行ってきたことや習得した技術を振り返ることで、新たな気づきを得ることができた。特に、異なる技術を組み合わせることで新しい可能性が生まれることに気づき、自分ができることの幅が広がったことを実感した。

一方で、まだ習得が十分でない技術もあり、プログラミング言語によっては思うようにコードを書くことができず、スキルとして記載できないものもあった。これにより、今後身につけるべきスキルについても考えるきっかけとなった。

今後も定期的にポートフォリオを更新し、自分の成長を振り返りながら、さらなるスキルアップを目指していきたい。

3. Github Pages の URL を報告してください。上記の報告の確認をします。

<https://kaito799.github.io>